

かみっこ

令和5年8月28日

全国学力・学習状況調査結果から

教務主任

今年度の全国学力・学習状況調査（6年生対象）の結果が届きましたので、国語科・算数科および児童質問紙の回答について報告します。

国語、算数ともに、全国平均とほぼ同等の正答率でした。

1. 全国平均との比較から見た成果(◎)と課題(△)

<国語科>

◎目的に応じて文章と図表を結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができる。また、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

◎日常使われる敬語を理解している。

△文章を読んで理解したり、他者の考えと比較したりする中で、自分の考えをまとめ、記述する力が弱い。

△文章の中で、漢字を正しく使うことがやや弱い。

<算数科>

◎四則が混合した計算をしたり、分配法則を用いた計算をしたりするなどの計算する力は身につけている。

◎式と場面を関連付けて、その式がどのようなことを表しているかを理解している。

△図形において、形の意味や性質・構成の仕方についての理解がやや弱い。

△知りたい数量の大きさの求め方を言葉で説明したり、三角形の底辺と面積の関係を数や言葉を用いて説明したりするなど、自分の考えを的確にまとめ、順序だてて記述する力が弱い。

2. 質問紙調査から見た児童の様子

<望ましい姿>

◎ICT機器を積極的に使っている。またICT機器は学習に役立つと捉えている。

◎いじめは絶対にいけないとか、困っている仲間がいる時は進んで助けるという意識が高い。

◎国語や算数の学習は大切であり、社会に出たときに役に立つと考えている。また授業の内容がよく分かると受け止めている。

<改善したい姿>

△地域行事にはよく参加するが、地域や社会をよくするために自分が何かしてみたいという意識が弱い。

△各教科で学んだことを生かして考えをまとめたり、授業で学んだことを他の学習で生かしたりする意識が弱い。

△困りごとがあるときに、いつでも大人に相談できると答えた児童が約半数であった。

3. 調査の活用と指導の方向

①一人一人への指導

・担任より「個人票」について説明を添えて返却します。（10月6日に通知表とともに持ち帰り）

②授業の改善

・授業で学んだことを自分の生活とつなげて考えることで、学習内容の理解を深めます。また自分で考え、表現（説明する・まとめる・話す・書く）する場を設定し、時間を確保します。

・対話活動の向上を目指します。異なる意見を自分の考えに活かしてまとめることや、自分と他者の考えの共通点や違いを捉え、新たな考えや課題を見つける場面を設定します。

家庭学習の習慣化なしには学力は定着しません。保護者の皆様には、今後とも家庭学習の見届けをお願いします。また、最後までやり遂げたときには大いにほめていただくと幸いです。

自ら考えチャレンジすることに価値を見出し、自分から取り組む姿を認めてあげてください。